慣用句(上級)プリント22

月　日　名前 _____

問1　どんなトラブルにも動じないとは、彼も（　）が据わっている。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 頭
2. 胸
3. 心
4. 肝

問2　「舌鼓を打つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 太鼓の音に合わせて舌鼓を打つ。
2. 彼は不満そうに舌鼓を打った。
3. 旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。
4. 舌鼓を打って料理を急いでかきこんだ。

問3　「手綱を締める」の意味はどれですか？

1. 相手に自由を与え、好きなようにさせる
2. 相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する
3. 他人の意見を聞き入れず、自分のやり方を押し通す
4. 物事の進行を遅らせて、失敗しないように慎重に待つ

問4　「目をかすめる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 先生の目をかすめて、授業中に手紙を回した。
2. 目をかすめるほどの速さで、彼は走り去った。
3. 飛んできたボールが、間一髪で目をかすめた。
4. 強い風が吹いて、砂が目をかすめて痛い。

問5　「嵩にかかる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 重い荷物を嵩にかかって、必死に運搬した。
2. 嵩にかかって高い場所へ登り、景色を眺めた。
3. 彼は嵩にかかって、自分の意見を押し通した。
4. 相手が動揺しているのを見て、嵩にかかって攻める。

問6　「折に触れて」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 折に触れて、昔の友人のことを思い出す。
2. 花瓶が折に触れて、床に落ちて割れた。
3. 木の枝が折に触れて、服に引っかかった。
4. 骨折した所が折に触れて痛むので、固定した。

問7　来月の予算について（　）算用を立てる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 頭
3. 顔
4. 胸

問8　「青天の霹靂」の意味はどれですか？

1. 空が急に暗くなるような不安な予感
2. 突然起こる思いがけない出来事
3. 雷が鳴り響くような激しい怒り
4. 晴れた日に突然雨が降ること

問9　突然の大きな音に（　）をつぶした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 腰
3. 肝
4. 腹

問10　「見得を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 相手の親切な気持ちを断ってしまい、見得を切った。
2. テストで悪い点を取ってしまい、お母さんの前で見得を切った。
3. 見た目を良く見せようと、無理をして高級な服を買って見得を切った。
4. 役者が舞台中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。

問11　失敗の悔しさが（　）身に染みる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 骨
2. 肌
3. 肉
4. 血

問12　賞品を見て（　）の色を変える。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 頬
2. 鼻
3. 目
4. 耳

問13　「逃げ口上」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 逃げ口上を閉めて部屋から外へ出た。
2. 彼は問い詰められると、逃げ口上を並べてごまかした。
3. 彼は逃げ口上で素早く敵を追い払った。
4. 逃げ口上を唱えて魔法の扉を開いた。

問14　厳格な会議の空気に（　）が詰まる思いだった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 息
3. 鼻
4. 喉

問15　準備不足のまま（　）発車で事業を始めた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 見極め
2. 見通し
3. 見計らい
4. 見切り

問16　「骨身を惜しまない」の意味はどれですか？

1. 自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと
2. 体力が衰えて、以前のように動けなくなること
3. 自分の非を認めず、責任を他人に転嫁すること
4. 自分の利益のために、他人の犠牲をいとわないこと

問17　「腕利き」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. この腕利きな道具を使えば、誰でも簡単に料理ができる。
2. 彼は腕利きなので、重い荷物でも軽々と持ち上げられる。
3. 腕利きの職人を招いて、古い建物を修復してもらった。
4. 腕利きな性格のせいで、いつも他人と衝突してしまう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント22　答え合わせ・解説

問1　答え 4　肝
「肝が据わる」の「肝」の部分が入ります。 意味は「物事に動じず、度胸がすわっている」です。

問2　答え 3　旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。
「舌鼓を打つ」の正しい使い方は「旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。」です。 意味は「美味しいものを食べて満足する」です。

問3　答え 2　相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する
「手綱を締める」は「相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する」という意味です。手綱を緩めるの反対です。

問4　答え 1　先生の目をかすめて、授業中に手紙を回した。
「目をかすめる」の正しい使い方は「先生の目をかすめて、授業中に手紙を回した。」です。 意味は「人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする」です。

問5　答え 4　相手が動揺しているのを見て、嵩にかかって攻める。
「嵩にかかる」の正しい使い方は「相手が動揺しているのを見て、嵩にかかって攻める。」です。 意味は「相手を圧倒するような勢いで強気に出ること」です。

問6　答え 1　折に触れて、昔の友人のことを思い出す。
「折に触れて」の正しい使い方は「折に触れて、昔の友人のことを思い出す。」です。 意味は「機会があるごとに、その時々で」です。

問7　答え 4　胸
「胸算用（むねざんよう）」の「胸」が入ります。意味は「心の中で収支や見通しを計算すること」です。

問8　答え 2　突然起こる思いがけない出来事
「青天の霹靂」は「突然起こる思いがけない出来事」という意味です。

問9　答え 3　肝
「肝をつぶす」の「肝」が入ります。非常に驚いて恐ろしくなるという意味の慣用句です。

問10　答え 4　役者が舞台中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。
「見得を切る」の正しい使い方は「役者が舞台中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。」です。 意味は「歌舞伎で動きを止めてポーズをとる。また、自信ありげに大げさな態度をとる」です。見た目を良く見せようとするのは「見栄（みえ）を張る」と言います。

問11　答え 1　骨
「骨身に染みる」の「骨」の部分が入ります。 意味は「経験や教訓などが深く心に刻まれる」です。

問12　答え 3　目
「目の色を変える」の「目」の部分が入ります。 意味は「ある物事に熱中したり、激しい感情をあらわにしたりする」です。

問13　答え 2　彼は問い詰められると、逃げ口上を並べてごまかした。
「逃げ口上」の正しい使い方は「彼は問い詰められると、逃げ口上を並べてごまかした。」です。 意味は「追及を逃れるために言う、言い訳やごまかしの言葉」です。

問14　答え 2　息
「息が詰まる」の「息」の部分が入ります。 意味は「緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫感を感じる」です。

問15　答え 4　見切り
「見切り発車」の「見切り」の部分が入ります。 意味は「十分な準備や検討をしないまま、物事を開始すること」です。

問16　答え 1　自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと
「骨身を惜しまない」は「自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと」という意味です。「骨身を惜しまず働く」のように使います。

問17　答え 3　腕利きの職人を招いて、古い建物を修復してもらった。
「腕利き」の正しい使い方は「腕利きの職人を招いて、古い建物を修復してもらった。」です。 意味は「ある仕事をする能力が優れていること」です。